

TTCJ2015 東北視察旅行（2015、8月28日～29日）

（日程詳細は別紙当該計画のフライヤーに記載）

TTCJの東北の視察旅行は今年で4回目。2012はいわき。2013年は気仙沼。2014年は宮古、田老。そして今年は仙台、石巻。今回は6名が参加。

8月28日：

仙台駅で待ち合わせた工事現場の安全パトロール、指導をしている菊池氏が同乗し、仙台から北にある大崎市松山町の「一ノ蔵」（酒造メーカー）の鈴木社長に会社の移り変わり、酒の製造工程と3・11以降の取り組みについて話を伺う。「手づくり」にこだわり、多くの杜氏（同規模で機械化している酒造メーカーの約5倍）を雇用している。試飲もさせていただき、名前は忘れたが甘めですっきりした口当たりの日本酒が印象に残った。

車の中では菊池氏が建設会社によってはしっかりと安全管理をしているところがあり、そのような現場では事故が少ないが、多くの現場では未経験者の作業員が従事していて、安全意識が低く事故が多い、（従事者の）教育に時間を割けないなどの話を聞いた。また、住民が住まなくなってしまった海岸地域でも堤防工事をしているが、すでに工事計画が予算化されてしまっているから、（工事の中止などの）手直しできないのではないかという説明があった。

「一ノ蔵」のあとは、石巻を訪れた。最初に大規模な仮設住宅を車窓から見た。世帯数は聞かなかったが優に1000世帯以上の仮設住宅がある。その後、海岸地区に回った。津波の被害を受けた家屋はいまだに放置されたままになっているのが多いが、更地になっていたところに新しくオフィス、家屋がパラパラと建てられていた。地域によって進捗状況は異なるが、石巻は車窓からの見学した範囲では復興しているとは言えないが堤防などの復旧が進んでいる。

TTCJとして東北にこだわって年1回の旅行を実施してきたし、個人的には東北訪問を続けたらいいと思うが、現地が抱えている課題、問題（コミュニティ、人口の減少、産業、仕事の欠如など）は震災や津波の被害を受けた地域以外の多くの地方とも共通なので、来年以降は別の地域でもいいのかもしれない。

8月29日：

TTCJ旅行の2日目は仙台市内の商店街を見学した。クリスロードというアーケード内にある老舗の「にしむら呉服店」の店主に商店街を案内していただいた。歴史ある店もあるが、東京にある会社（店）の支店、チェーン店が目につく。パチンコ屋が意外と少なく、人通りが多い。地下街が発達せず、駅と繁華街を結ぶ形で商店街が発達したのが、現在でもクリスロードを含む商店街が元気な理由だろう。老武参（いろは）横丁はレトロな一角で、このような一角を残しておくのと街が画一化せずに面白味のある都市になるだろう。

（TTCJ 伊東）

